

製造業のためのデータ活用による
業務改善、業務高度化セミナー
～見える化できる人材を目指す～
のご案内

セミナーの狙いと概要

上記を学ぶことにより、**営業戦略**や**製造戦略**（生産性向上、品質改善、技能継承など）の**データ活用の知見**を身に付けることを狙いとしています

セミナーの狙いと概要

講義

1. 製造業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）について
DXとは何か、製造業ではどんなことができるのか
製造業における実際のDXの推進事例を紹介
2. データ活用と見える化について
データを有効に活用するための2つのアプローチを紹介
DX推進のキーである見える化とデータ活用の視点を紹介

グループ討議

- ・ 講義に加えて他人との討議を加えることで、**業務適用**へ向けて**自分の頭を整理**する
- ・ 他社や他部署の人と意見交換することで、**異なる見方**や**新たな刺激**を受ける
- ・ そこを通して新たな**疑問**や**心配事**を整理し**質疑応答**へ繋げる

受講対象者

製造業の若手・中堅社員、管理者
開催人数 最大48名程度

セミナーのスケジュール構成

- ・講義、グループ討議、質疑応答の3部から構成する
- ・冒頭は、講義によりベースとなる知識や事例を紹介する
- ・その後、グループ討議を実施し、活用のイメージを膨らませる
- ・最後に、全体を通しての質疑応答を実施し、理解を深める

区分	内容	タイムスケジュール	想定時間
講義 1	製造業におけるDX	13:00~13:45	45分
グループ討議 1	製造業におけるDXを進める際の目標設定や進め方について 意見交換	13:45~14:45	意見交換 40分 発表 20分
休憩		14:45~15:00	15分
講義 2	データ活用と見える化	15:00~15:45	45分
グループ討議 2	製造業のDXでどんなものが見える化できたら有益かについて 意見交換	15:45~16:45	意見交換 40分 発表 20分
まとめ	本日のポイントの振り返り及び質疑応答	16:45~17:00	15分

講師プロフィール

竹内 芳久 (たけうち よしひさ) エグゼクティブコンサルタント

1. 経歴

早稲田大学 理工学部工業経営学科 修士課程修了

1981年～2003年 日産自動車

- ・インダストリアルエンジニア(IE)として入社、工場では多数の現場改善を実施、本社スタッフとして改善手法の開発・標準化を推進、グローバル生産性管理の仕組み構築
- ・生産技術部門においては、ユニット工場内の生産管理情報システム、エンジン新工場における生産支援情報システム及び自動化工場(FA)システムの開発と導入に従事
- ・エンジン・ミッション・アクスルなどのパワートレイン新ユニットの計画段階から設備仕様・プロセス・レイアウト・物流改善などを織り込むコンカレントエンジニアリングに従事
- ・日産生産方式(NPW)推進室発足時のメンバーとして同期生産という基本コンセプトの確立をリード、ドキュメント類の整備・展開・研修の企画と共に製造部門での実践にも従事
- ・ルノーとの合併後はクロスカンントリーチームメンバーとしてルノーのパワートレイン工場生産性向上活動を企画すると共にフランス・スペイン工場での実践を支援

2003年～2013年 米国Honeywell 社

- ・Transportation Systems(TS) Japan Plant Managerとして、生産工場、試作工場、購買機能を含めた日本事業所の経営に従事
- ・Honeywell Operation System (HOS) Directorとして、生産システム開発とTS事業部内の世界30事業所への導入をリード。特に品質、原価、在庫面では飛躍的な改善を達成
- ・Aero Space事業部では品質とコストに焦点を当てた生産システム改革プロジェクトをリード、研修カリキュラムの開発及び工場での実践活動を支援

2013年～2017年 ジャパンインダストリアルソリューションズ(株)

- ・製造業の再生・再編支援を行う投資会社の執行役員として、投資先企業の企業価値に従事。投資先の社外役員(ユニチカの社外監査役、明光商会の社外取締役)及び訪問アドバイス(ULVAC、JEOL等)を実施

2017年 オペレーショナル・エクセレンス・パートナーとしてコンサルタントを開業し独立

2. コンサルティング分野

- 1) 企業価値向上視点での生産部門KPIの設定と活用支援
 - ・方針管理を活用した目標・方策展開とPDCA
 - ・原価管理及び管理会計の導入とPDCA
- 2) バリューストリーム視点での改善余地の診断と改善支援
 - ・受注・生産計画・調達計画を対象としたスケジューリングプロセス改善
 - ・調達部品物流・工程間物流・完成品物流などを対象とした物流改善
 - ・品質の造り込みに焦点を当てた品質保証の仕組みの改善
 - ・レイアウト・フレキシビリティ・搬送装置などを対象とした工程改善
 - ・配置人員・作業編成・作業経路及び動作などを対象とした作業改善

3) ICTを活用したプロセス改善

- ・グローバル経営システム構築及びEA (Enterprise Architecture) の策定
- ・グローバル生産管理システム構築及びEAの策定
- ・グローバル統合生産システム構築及びEAの策定

4) マネジメントの改善支援

- ・事業軸と機能軸のバランスが取れた組織のデザイン
- ・部門横断クロスファンクションチームの活用
- ・企業ガバナンスの強化とコンプライアンスの向上
- ・ICTを活用したコミュニケーションの向上

5) 人材育成支援

- ・ものづくり思想から手法まで多岐に渡る社内外研修
- ・ディスカッションペーパー及び指導会などを通じたOJT

3. プロジェクト&コンサルティング実績

- 1) 自動車メーカー組立生産性評価ツール開発プロジェクト
- 2) 自動車メーカーパワートレイン工場内生産計画及び調達計画及び工程管理情報システム導入プロジェクト
- 3) 自動車メーカーの国内新ユニット工場における統合生産情報システム導入プロジェクト
- 4) 自動車メーカーのグローバル生産方式確立推進室マネージャー
- 5) 仏自動車メーカーの生産システム構築及び改善実践クロスカンントリープロジェクト
- 6) 米国自動車部品メーカーにおける日本工場へのSAP(受注・生産・調達)導入プロジェクト
- 7) 米国自動車部品及び宇宙航空メーカーにおける革新的生産システム構築及び実践プロジェクト
- 8) 化学繊維メーカーにおける企業価値向上視点での改善余地及び実行組織に関するコンサルティング
- 9) 事務機器商社における企業価値向上KPI策定とPDCAに関するコンサルティング
- 10) 外資系自動車メーカーの生産能力及び生産性向上に関するコンサルティング
- 11) 精密機器メーカーのグローバル生産管理システム改革のコンサルティング
- 12) 物流商社の商品物流センター効率化のコンサルティング
- 13) 投資会社の製造会社を対象としたビジネスデューデリジェンス支援

4. その他

資格: JMI (日本能率協会マネジメントインスティテュート) 経営修士
著書: 日産いわき工場の挑戦 (日本能率協会マネジメントセンター 1995)

- ・製造販統合型情報システム (共著、日科技連1996)
- ・スマート工場のしくみ (共編著、日本実業出版)
- ・マニファクチャー2030未来の製造業 (日経BP)

講師: 東京情報大学 非常勤講師 (1996 生産管理概論)

・駿河台大学 非常勤講師 (1998 生産管理論)

語学: 日本語(ネイティブ)、英語(米国カンパニー本社所属8年、流暢ビジネスレベル)

End Of File